

NEWSLETTER FROM ASAHI TOWN TO THE WORLD



りんご園便り

せいの
山形県あさひまちの清野りんご園から全国のみなさまへ、
年1回お届けする私たちのニュースレター

第37号



ASAHI-MACHI TODAY 1 異常気象が当たり前になる!?

収穫の親子(2代目と3代目)

ASAHI-MACHI TODAY 2 2代目の父の死

TOPICS 1 ユニセフ&社会貢献活動レポート

TOPICS 2 高校って楽しい!

TOPICS 3 パプア州の青年との交流

TOPICS 4 第8回 最上川縦断カヌー探訪

ASAHI-MACHI LIFESTYLE りんご農家の1日(薪割りひとり言)

NOTICE 大切な知らせ

AUTUMN 2020

清野りんご園 SINCE 1955

朝日町りんご栽培 SINCE 1887

異常気象が 当たり前になる!?

今年度観測史上初めてといわれる気象が2つありました。

1つは雪が無い冬! 降雪日も少なく、降っても直ぐ融ける暖かい冬でした。りんごの樹や家屋の雪下ろし、除雪の手間がかからなく、生活するのは楽でした。一方、りんごの開花が異常に早まるのではと、果樹に及ぼす影響が心配されました。異常な暖冬による影響はなく、開花は例年並み、春先の良好な天候のおかげで、結実がよく良好な実がたくさん着果しました。ただ、雪が無いのをいいことに、イノシシがやりたい放題畑を荒らしていました。これが一番の

暖冬の被害かな!?

2つ目は6月下旬から7月にかけての長雨、日照不足! この期間は、ほぼ毎日雨具を着ての作業が続きました。これにより、りんごの葉が茶色に変色する、雨焼けの被害が一部の樹で発生しました。根痛みや葉の損傷による樹勢の低下も懸念されるので、注意深く見守っていきます。



2020年1月17日(積雪0cm)

そして、追い打ちをかけるように7月28日の大雨、町内でも250か所で被害が発生しました。農道や畑、果樹園の被害も多く、高齢で後継者のいない農家では修復を行わず離農するのではないかとの心配も出ています。我が園では、事前に排水対策を行っていたので、大雨による被害はありませんでした。異常気象が当たり前ようになっていく中、どのような条件でも樹を守り、りんごを作り続けられる技術を身に付けることの大切さを実感しています。これから収穫まで何が起こるか分かりませんが、おいしいりんごを届けられるよう作業していきます。



2代目の父の死

清野りんご園の2代目として、私たちを見守ってくれた父が今年5月3日に亡くなりました。穏やかで優しい父を物語るような日和に眠るように旅立ちました。

清野りんご園は軍人だった祖父が、戦後故郷に戻り雑木林を開墾したことから始まりました。当時10歳だった父も鋤1つで作業を手伝い、中学卒業後はりんご栽培に本格的に取り組み、技術を学ぶため先進地の青森まで何度も通ったそうです。収穫が終わると冬場は出稼ぎに行き、全国各地で作業したことも話してくれました。多くの苦労と困難があったと思いますが、父は「当時はみんなそうだった、苦労しているとは思わなかった」と話していました。父の写真を見ても常に日焼けした笑顔の優しい、いきいきとした姿があります。それでも、幼少期から体を酷使してきたせいか、腰痛や股関節の痛みにも悩まされ、手術後にはその後遺症と常に痛みにも悩まされていました。

私たちは、3代目として苦労もなく受け継ぎ、様々なこと



後列左が2代目の父、前列左から2番目が3代目の娘

に挑戦した時も父は文句も言わず、温かく見守ってくれました。今の安定した経営・生活があるのは、父が土台をしっかりと固めてくれたおかげだと、本当に感謝しています。

最後に、お酒が好きだった父。お酒を飲むといつの間にか、受話器を握りしめていました。父からの電話の被害!?! にあっていた、おじさん、おばさん、従兄弟たち、父に付き合ってくれて本当にありがとうございました。

TOPICS 1

ユニセフ&
社会貢献活動レポート

私たちは、ふじりんごの「販売箱数」に連動する形で、ユニセフに募金し続けています。様々な場所で現在も起こっている紛争。犠牲になっている多くの子供たちのために少しでも貢献できたら嬉しいです。



2008年～2018年 **1,182,800円**

2019年 **82,100円**

コロナの影響で休止していた森の休日が、9月から活動を再開します。森の休日は、福島の子供たちとその家族を朝日町の自然の中に招待して、思いっきり遊んでもらい、ストレスを解消してもらうための週末保養に取り組んでいます。福島原発の問題は終わりが見えません。震災・原発による子供たちへの影響、幼少期に自然と触れ合わないことで起こる弊害も多く報告されています。この活動が、子供たちの笑顔につながるようお手伝いしていきたいです。

TOPICS 3

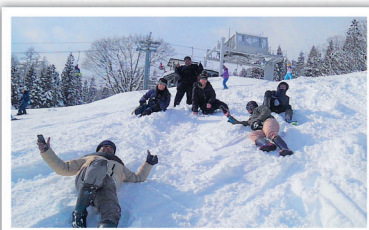
パプア州の青年との交流

2月にインドネシアから20人の青年が来日。我が家には2人の地方公務員と1人の外交官がホームステイ。暖冬で雪不足の中、山形雪フェスティバルに参加。



3人は出店やラーメンを楽しんだ。スイカ割り大会があり「チームインドネシア」で出場。ルールは娘から通訳してもらい、初めての経験にもかかわらず、なんと準優勝！副賞までもらい3人は大喜び。1人が目隠しで棒を持つ、もう1人がスイカまで言葉で誘導。棒を振り下ろし、雪玉スイカを割る。単純だけど面白い。夕食は、田舎料理とお酒を飲みながらの大宴会！外交官の方は、午前中に息子が通う高校でも交流があり、自宅でも息子との会話を楽しんでた。

2日目は、自然観スキー場で空から降る雪に感動！積もった雪の上を走ったり、転がったりと大騒ぎ。いくつになっても



初めての経験はドキドキワクワクですね。たまには、常夏の南国で北国の雪を思い出して涼んでくれるといいな。

TOPICS 2

高校って楽しい！

written by Yuna

こんにちは、高校生になりました、由奈です。新型コロナウイルスの影響でどうなるのかと心配していましたが、無事に高校生活が始まりました。高校での生活は思ったよりもずっと忙しく、家にくたくたになって帰ってくる生活が続いています。それでもやはり新しい友人との学校生活はとても楽しいです。学生の本分は勉学に励むことだとは



いいですが、それと同じくらい一生の友人作りも大切ですよ。クラスみんな個性が強く、持っているものが全く違うので、この人たちと過ごす三年間で私は何を学べるのだろうかとてもワクワクしています。

また、部活は新聞部に入りました。先輩方や先生方、同級生みんな優しく、たくさんのことを教えていただいています。取材や編集を通して、自分の目と耳で知ること、知ったことを伝えることができるようになりたいと思い活動しています。これから、楽しい高校生活、青春を存分に謳歌していきたいです！

TOPICS 4

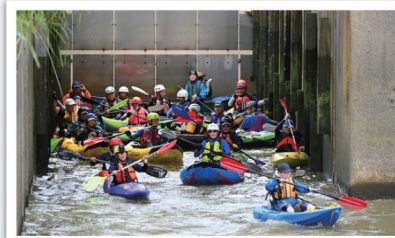
第8回最上川縦断カヌー探訪

コロナの感染再拡大で開催が危ぶまれる中、予定通り7月25日カヌー探訪は開催。長岡代表と事務局全員の徹底した準備と、参加者の協力で成功に漕ぎ着けました。7歳の小学



2年生から79歳のベテランまで、全国からのカヌーイスト45人が参加。娘が持っていた最年少9歳の記録と、参加人数の最多記録がともに更新。戸沢村～酒田市庄内大橋までの20kmを下りました。今年のハイライトは、なんといっても農業用の取水堰「さみだれ大堰」の通過。舟通し閘門の利用方法を紹介します。

- ① →に従って右岸の舟通し閘門に寄る
- ② 職員の手旗信号に従い舟通し閘門に入る（長さ 25m幅 5m位）
- ③ 20 艇ほど入り上流側の水門を閉める
- ④ 舟通し閘門内部の水を下流の水位まで抜く（当日は 3.3m→1.3m）
- ⑤ 下流側の水門が開いたらカヌーを進める（所要時間 30 分程度）



カヌーイストも貴重な体験が出来たと喜んでいました。

りんご農家の1日 (薪割りとひとり言)

ASAHI-MACHI LIFESTYLE



新型コロナウイルスでショックだったのが、マスクの生産を外国に依存した結果、不足による混乱が起こったことでした。国による転売禁止令や大国によるマスクの奪い合いが起きました。



もし、これが温暖化による天候不順で食料だったらどうだろう！考えるのも恐ろしいです。昔のように長男が農家を継ぐ時代ではありません。しかし、とてつもない時間と汗の結晶である農地が、

荒地になっているのが気になります。主を失った農地にはススキが生え、柳が生え、雑木が生え、やがて林や森に。最終的には開墾する前の姿に行き着くのが本来の姿かもしれない。と思うことしか出来ない自分もどかしいです。

早春におじいさん(80歳)から3反歩60本程のりんごの樹の伐採を頼まれました。同じ生産組合のメンバーで人格者、立地条件もよく60~80年の成木で立派なりんごが実ります。「誰かに貸すことも出来るのでは」と



話しましたが、「いやいやそれが・・・」と断ります。どこの農家も

精一杯の経営規模なので、僕たちが借りますとも言えない状況もあります。



実は一昨年も全く同じことがありました。高齢者が自分の体力に合わせて、経営規模を縮小することが全国で起きています。



近年、国の政策等により新規就農者が増えてはいますが、地域に根ざし生業として腰を据える人はほんのわずかです。「大規模農業」「最先端農業」「株式会社の参入」などもありますが、極一部に過ぎません。

昔ながらの小さな農家が多くを占める日本において、高齢化に伴う農地の手放しは、本当にもったいない。相変わらず僕には解決策の提示は出来ません。誰か良いアイデアありませんか。

おじいさんの「いやいやそれが・・・」の続きには数え切れない苦悩や落胆、希望までもが含まれているような気がしてなりません。



大切な知らせ NOTICE

1 無袋ふじのみの販売はありません。シナノゴールドとの詰め合わせになります。詳細はカタログをご覧ください。

2 注文用紙は規定のものでなくても、必要事項があれば手書きの普通の紙でも大丈夫です。

3 注文書に住所を書くのが大変という声があります。注文の履歴を管理していますので、2回目以降は変更がなければ住所は省略可能です。その他の必要事項は必ず記入してください。

4 今年の直売日は11月21日(土)、22日(日)、12月は毎日です。11月は、直売日以外は収穫のために自宅におりませんのでご注意ください。訪問日が決まりましたら、電話をいただけると嬉しいです。

5 同じ方の注文であっても商品や等級など仕事の進行具合により、お届け日にずれが生じる場合があります。

清野りんご園

所在地 山形県西村山郡朝日町和合2682-10
 電話・FAX 0237-85-0931
 園主携帯 090-9741-7948
 メールアドレス seinoringoen@hb.tp1.jp
 ネット販売

